



氷ノ山は標高1,510mの中国地方第2の高峰。冬の山頂付近は雪と氷の世界となる

支援制度

support for new farmer

1 新規就農者向けの支援制度

新規就農時の機械・施設に助成
就農条件整備事業

- 対象者** 町内に就農する認定就農者等 (就農時から5年以内、65歳未満)
- 内容** 次の場合に助成する。
 - 農協または公社が認定就農者等に対し、就農時に必要な機械・施設を貸与するために整備する場合
 - 認定就農者等が自ら就農時に必要な機械・施設を整備する場合
- 補助率** 1/2 (事業費上限2,000万円)



田園地帯を若桜鉄道が走る

2 移住・定住者向けの主な支援制度

住宅

空き家情報活用制度

町が賃貸・売却希望のある空き家を募集・登録し、移住希望者へ情報提供する。

その他

宅地分譲 (1坪3~4万円、1区画70~120坪、契約締結後3年以内に建設着手)、若年世帯への家賃補助など

子育て

小・中学生医療費助成

小・中学生の医療費を助成 (保険適用医療費は530円分、薬代は全額を助成)

通学補助

遠距離通学者について定期券を支給 (小学生2km以上、中学生4km以上、冬期間はおおむね1km以上)

その他

子育て支援センターの設置、放課後児童クラブの設置など

Town Topics

極上の夏大根は汗・涙・愛の結晶 ~ 広留野高原開拓史



若桜・八頭両町にまたがる標高700~800mの広留野高原で開拓が始まったのは、昭和23年。小谷次郎さんをはじめ数軒の農家が、およそ60haもの原野を手作業で切り開いた。

だが、収入につながる農産物が見つからず、昭和40年、苦勞の末たどり着いたのが大根。暑さに弱く、一般には秋冬物とされる野菜だ。しかし、広留野高原は低地と比べて5 前後

も気温が低く、夜は8月でも20 以下。日差しに耐え、光合成による養分を十分に蓄えられる。さらに、涼しい環境が呼吸による糖分の消費を抑え、引き締まった肉質と染み出すような甘さを備えた極上の大根が生まれた。

7月から10月にかけて鳥取や姫路などの市場に出荷される広留野大根は、開拓に賭けた人々の汗と涙、そしてあふれる愛の結晶だ。

担当者メッセージ

若桜町農林建設課 山口 由企夫さん



若桜町を取り囲む中国山地の山々。その代表格・氷ノ山は優れたスキー場であると同時に、中腹の美しい棚田で稲作が営まれます。今後は高冷地を活かした夏イチゴやブルーベリーの生産が計画されるなど、若桜町の農業は魅力いっぱい。新規就農のご相談をお待ちしています。

新規就農者紹介

千石農遊会 中島 義廣さん ほか4名

平成21年3月に仲間とともに任意団体を設立して就農。自力でビニールハウスを組み立て、イチゴを主体にトマトなどを栽培している。初収穫を前に期待と不安が交錯する中、努力の成果を楽しみに待つ毎日だ。将来は観光農園を開設するのが夢。



朝霧けむる 懐かしく穏やかな 日本の原風景。



町内には古き良き農村風景が残る。農家の茅葺き屋根は因幡地方に特徴的な「入母屋造り」が多い

まちの環境と農業

environment & agriculture

気候

雨量・積雪ともに多い高原の気候

山あいの高原地域のため低温多湿で、昼夜の寒暖差が大きい。雨量、積雪ともに多く、年間降水量は2,000mmを越える年もある。山地はスギのほか、ブナの自然林や高山植物など自然の宝庫。



地勢

周囲は1,000m超の山々

周囲を1,000mを超える中国山地の山々に囲まれた山間地。特に東部にそびえる氷ノ山は国定公園に指定され、冬期はスキー客でにぎわう。山岳を源泉とする大小10河川が合流して八東川となり町の中央部を流れる。町の中心地・若桜地区は城下町、宿場町の面影を今に伝える。



農業

冷涼な気候を生かした高原野菜

農業産出額は約4億円 (平成18年)。米のほか、高原の冷涼な気候を生かした夏大根など野菜の生産が盛ん。茶の原料にもなる大型の豆「太刀豆」(なたまめ)も。

主な農産物

agricultural products

風味豊かな「広留野大根」

広留野(ひろどめの)は、若桜町と八頭町にまたがる広大な高原。県内唯一の夏大根の産地だ。冷涼な環境のため、呼吸による糖分の消費が抑えられて甘味が増し、適度な辛味が加わる。若桜町内の加工所では、醤油漬けなども作られている。

大根



米



「棚田米」計画が進行中

氷ノ山の山麓700~800mの高地に位置する「つく米の棚田」。全国棚田百選に選ばれた棚田には、山に群生するブナ林から源流水が注がれる。生産される米は「棚田米」として脚光を浴びており、ネット通販などによる販促計画が進行中だ。

ほのかに色づく山裾を背にした茅葺き屋根の家と穂を揺らす稲。若桜町は、郷愁をいさなうてやまな日本原風景に出会えるまちだ。朝霧けむる高原で自覚めを迎える暮らしは、農の営みを通して味わうべき至福だろう。

若桜町

【わかさ・ちょう】

BASIC DATA

人口	4,214人(H21)
農業就業人口	434人(H17)
面積	19,931ha(H21)
経営耕地面積	221ha(H17)
特産品	米、大根、太刀豆ほか



お問い合わせ先

若桜町農林建設課
〒680-0792 鳥取県八頭郡若桜町 大字若桜805-1
☎ 0858-82-2238
http://www.town.wakasa.tottori.jp/